

令和5年度 第1回女性の活躍応援協議会くまもと 議事要旨

1 開催日時 令和5年10月10日(火) 10時～11時45分

2 開催場所 熊本市役所議会棟 議運・理事会室

3 出席状況 10団体出席(全12団体中)

※出席者(順不同、敬称略)

- ・大学コンソーシアム熊本 男女共同参画推進連携委員会 委員長 生野 繁子
- ・熊本県経営者協会 専務理事 岩永 秀則
- ・日本労働組合総連合会熊本県連合会 連合熊本地域協議会 議長 西村 辰明
- ・日本政策金融公庫熊本支店 農林水産事業 業務課長 豊島 裕子
- ・株式会社熊本日日新聞社 役員待遇総務局長 井村 知章
- ・熊本県社会保険労務士会 副会長 田上 聡子
- ・熊本県男女共同参画活動交流協議会 会長 宮川 いつ子
- ・熊本労働局 雇用環境・均等室 室長 北口 健一
- ・熊本市男女共同参画センターはあもにい 館長 吉田 稀世
- ・熊本市文化市民局 局長 金山 武史

(欠席)熊本商工会議所、熊本市認定農業者協議会女性の会

4 会次第 ①開会

②文化市民局長挨拶

③議事

(1) 企業取組事例の紹介

熊本労働局 雇用環境・均等室 北口 健一 室長

(2) 各団体の活動内容紹介及び意見交換

④その他(今後の協議会の在り方について)

⑤閉会

5 主な意見等

【女性の活躍推進について】

■中小企業など従業員が少ない事業所では、女性の活躍推進を進めていくのは難しいが、トップダウンが必要ではないか。

■女性の採用は多くなってきたが、年代差があって幹部登用のハードルが高い。

■子育てを理由に夜間に動けないなどということがあり、2、3人と子どもを出産すると、その期間も長くなるため、キャリア形成に悩む女性が多い。

- 保育環境について、待機児童は減ってきているものの、現状では、年度途中は保育所に入所できず、復帰を遅らせることがある。また、子育てにあたっては祖父母の支援が必要で、自宅や職場ではなく、祖父母の家のそばで保育所を探すといったこともあるので、保育所入所にあたって様々なケースに対応できるようになると働きやすさにつながるのではないかと。
- 女性の活躍推進は、女性の地位の向上・権利の側面だけでなく、男性の意識改革の両輪で取り組む必要があるが、男性への啓発が届きにくい。各団体、関係者で連携しながら、啓発を行っていききたい。

【男性の育児休暇・休業取得について】

- 属人化されている業務や人手不足をどう解消するかが課題である。
- 男性の育休取得は、以前は非常に難しかったが、周囲、上司の理解が進んできている。また、取得者からは取得して良かったと聞いている。
- 育休に関する勉強会を管理職も含めて行ったことで啓発を行えた。
- 男性の育休取得者の中には育児や家事に参加しない者もいるようなので、取得する場合は、育児や家事の取組方が大事である。
- 中小企業ではそもそも人手が足りず、残業が増えたり、男性の育休も取りづらかったりしている現状がある。働きがいを持って働ける、働きやすい環境になるよう取り組んでいる。

【テレワークについて】

- 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため在宅勤務を行うようになったが、テレワークをすることで、子育てがしやすくなったとの声があった。
- 仕事内容、分野によっては、情報漏洩のおそれから、テレワークができないものもある。

【えるぼし・くるみん認定について】

- 中小零細企業で認定を受けたいと思っても、女性ばかり、男性ばかりの職場であったり、こどものいる職員がいなかったりすると、認定基準を満たせず、現状と国の目指す姿との大きなギャップを感じている。

【女性デジタル人材について】

- どの程度のデジタル人材を求めているかは企業によって異なる。
- 性別に限らず、年代によってデジタルに関する知識に差がある。
- 介護、子育てなど時間的制約があって就労を諦めている人にとって、デジタルを活用することで多様な働き方につながる可能性があり、実際に活躍されている方にウェブ講演、セミナーをしていただき、働き方の紹介をしてもらうといいのではないかと。